

## NTT跡地利用今年度から着手へ 格納庫は取り壊しの恐れ

旧海軍の格納庫がまだ残るNTT研修センター跡地の再利用開発が今年度から始まることになりました。鈴鹿市が3月26日、市議会全員協議会に事業の概要を示して明らかになったものです。2004年（平成16年）に策定された「土地利用転換計画」に基づいて防災公園や健康福祉施設などを造る予定です。しかし、計画策定時点では格納庫の文化財的価値についてはまったく考慮されておらず、このまま進めば、全国的にきわめて珍しい格納庫が取り壊されることになります。「市民の会」としては、軍都から工都への歴史を学びながら楽しめる「平和ミュージアム」「車とバイクの博物館」などの形で有効利用して保存できるよう、市民に訴えるとともに、鈴鹿市と市議会に働きかけていく考えです。NTT研修センター跡地には、その一部にすでに鈴鹿医療科学大学が立地しています。今回の事業はまだ手つかずの大学北東側7・3haと南西側17・6haを整備するものです。北東側は鈴鹿市がNTTから土地を買収して防災公園に、格納庫がある南西側はNTT西日本が「新産業展開ゾーン」「健康・福祉ゾーン」として関係施設を造る計画となっています。いずれも独立行政法人「都市再生機構」（UR）が市とNTTからそっくり請け負う形で進めていくということです。

議会に示した防災公園整備のスケジュールによれば、①6月定例会市議会にURへの事業委託について諮り、同意が得られたらただちにURと基本協定を締結する②平成23年度から4年間で公園整備を進め、27年3月に完成する、としています。市の説明では、NTT側17・6haの市街地整備もURによって公園整備と同時並行的に進められるということです。突破口となる6月定例会市議会が格納庫の命運を決めるきわめて重要な議会となります。

### 防災公園街区整備事業(整備方針概略図)



## 【第2回総会で採択された特別決議】

# NTT研修センター跡地利用に関する特別決議

鈴鹿市の NTT 研修センター跡地には全国でも例のない旧海軍の格納庫3棟が残っています。その跡地の再開発が、新年度から着手されることになりました。独立行政法人都市再生機構（UR）が鈴鹿市とNTT西日本の意向を受けて事業を進めるということです。事業の基本になっているのは、三重県・鈴鹿市・NTT西日本・学識委員らで組織された協議会が6年前に策定した「土地利用転換計画」です。しかし、この土地利用転換計画の策定時点では、現存する鈴鹿海軍航空基地格納庫の文化財的価値の面について検討されていませんでした。

全国に散在していた格納庫は戦後60数年たってほとんど取り壊され、現在調査されている限りでは、民有地に残る海軍の格納庫は、京都府京丹後市にある木造の1棟のほかは鈴鹿市にあるだけです。完全な形で3棟並んであるのは全国にも例がありません。しかも、軍都として生まれた鈴鹿市の誕生を象徴する建物であります。私たちは昨年3月、貴重な戦争遺跡の保存をめざして「鈴鹿市の戦争遺跡を保存・平和利用する市民の会」を設立しました。見学会や展示会、講演会などを通じて、その貴重さを市民に訴えてまいりました。

このまま土地利用転換計画に従って取り壊されることになれば、将来に大きな禍根を残すことは間違いありません。この貴重な格納庫が保存できるよう、市民の力を集め、関係当局に強く働きかけていくことを、総会の名で決議します。

2010年4月4日

鈴鹿市の戦争遺跡を保存・平和利用する市民の会 第2回総会

## 【川岸市長への保存要望書】

2010年3月31日

鈴鹿市長・川岸光男 様

鈴鹿市の戦争遺跡を保存・平和利用する市民の会  
(共同代表 加藤二三子・竹内宏行)

# NTT研修センター跡地利用についてのお願い

鈴鹿市におかれましては、3月26日開かれた市議会全員協議会で、NTT 研修センター跡地の利用について、新年度から防災公園部分（7・3ha）の事業着手に乗り出す方針を示されました。平成16年3月に策定された「土地利用転換計画」に基づいて実施するとしておりますが、その計画策定時点では、現存する鈴鹿海軍航空基地の格納庫の文化財的価値について検討はなかったと聞いております。

全国に散在していた格納庫は戦後60数年たってほとんど取り壊されました。現在調査されている限りでは、民有地に残る海軍の格納庫は、京都府京丹後市にある木造の一棟のほかは鈴鹿市にあるだけだということです。完全な形で三棟並んであるのは全国にも例がありません。しかも、軍都として生まれた鈴鹿市の誕生を象徴する建物であります。

貴重な戦争遺跡であることを研究者らから教えられた私たちは昨年3月、保存をめざして「鈴鹿市の戦争遺跡を保存・平和利用する市民の会」を設立しました。見学会や展示会、講演会などを通じて、その貴重さを市民に訴えてまいりました。

貴市の方針通り、転換計画に従って取り壊されることになれば、将来に大きな禍根を残すことは間違いありません。文化財の観点からも十分に研究いただくとともに、市民の声にも耳を傾けていただき、慎重に計画を進められるよう切に切にお願いする次第です。

# こわすなんてもったいない！

## ～格納庫は全国に例のないかけがえのない遺産～

岩脇 彰

『しらべる戦争遺跡の事典』（柏書店）によれば、軍用地以外に残っている海軍の格納庫は少なく、京都府京丹後市の1棟と鹿児島航空基地の1棟のみです。このうち、鹿児島の格納庫は2008年に破壊されました。また、軍用地に残る海軍の格納庫では、青森県のアメリカ軍三沢基地に3棟、茨城県の陸上自衛隊霞ヶ浦航空学校に6棟がありますが、いずれも現役の軍用施設として機能的に改修され、当然のことながら自由な見学は許されません。

このように考えると、民有地に3棟も並んで残っている鈴鹿海軍航空隊の格納庫は、大変貴重なものと言えます。さらに鈴鹿市の格納庫はどれも、元の姿をほぼ完全に残しています。内部に柱が1本もないアーチを利用した構造や、たくさんの大きな扉を一度に開閉できるように設計された何本ものレールなど、そのままの状態が残っています。全国にも例のない戦争遺跡であり、文化財指定の価値も十分にある貴重なものです。広い滑走路の前に当時の格納庫が完全な状態で3棟並んで残っている景観は、日本中を探しても鈴鹿でしか見られないのです。

### ミュージアムにして鈴鹿を全国に発信

この巨大な空間を生かして、まちづくりができないでしょうか。歴史あるもの、古きものを現代に生かしてこそ、味わいと深みのあるまちができます次ページで紹介するように、全国にはすでにたくさんの先駆的な例があります。これらに学びながら、鈴鹿でも市の活性化を進めたいと思います。

まず目指したいのは、平和を学ぶミュージアムです。県内にはまだ平和を学ぶ施設がありません。三重の代表的な戦争遺跡で平和を学べたら素晴らしいと思います。また、戦争体験者が大切にされてきた実物資料を収蔵・展示する空間もぜひ欲しいです。さらに、鈴鹿を象徴するモータースポーツを発信する施設、地域の産業や歴史を発信する施設も併設できればと夢も広がります。活用のアイデアを早急に具体化しながら、強く保存を訴えていきましょう。

広島や長崎の原爆遺跡や沖縄の戦跡は有名ですが、他にもたくさんあります。鈴鹿市の将来の姿として参考になるような、代表的な所を紹介します。

**千葉県館山市** 館山海軍航空隊「赤山」地下壕跡、東京湾要塞砲台など。4コースの見学コースがある。行政と市民が密接に連携して、文化財指定・整備された戦争遺跡を市民のボランティアガイドが案内している。

**東京都三鷹市** 調布飛行場の掩体壕2基を都立武蔵野の森公園内に保存。戦闘機「飛燕」の10分の1のミニチュメントとともに、公園の目玉として市民に公開している。

**山梨県南アルプス市** 陸軍御勅使河原飛行場（暗号名ロタコ）の滑走路跡、誘導路跡、横穴壕跡などが市内に点在。「戦争遺跡ロタコを歩く」と題した地図、説明文入りの冊子を市教委文化課が発行している。

**長野県長野市** 「松代大本営」象山地下壕の保存と公開を市民らが進める。地下壕は整備され、市の観光課が管理している。長野県内の高校生は、沖縄への修学旅行前に必ず事前学習に訪れるようになっている。

**愛知県豊川市** 鈴鹿市と同じように誕生した豊川市は、桜ヶ丘ミュージアムで豊川海軍工廠の歴史を紹介し、市民からの情報を集める息の長い取り組みをしている。豊川海軍工廠跡地は市民の保存運動によって守られ、遺跡公園としての整備が検討されている。

**広島県呉市** 戦艦大和などを建造した歴史を伝えるために「呉市海事歴史科学館」（大和ミュージアム）を造り、町おこしに成功している。

**広島県竹原市** 毒ガス製造の島だった大久野島を休暇村にし、リゾートをメインにしながらも、「大久野島毒ガス資料館」を設けて歴史を見せる。

**愛媛県松山市** 日露戦争で陸海軍それぞれで重要な任務を果たした秋山好古・眞之兄弟の生家を復元、マドンナバスの観光コースにのせる。「坂の上の雲ミュージアム」も観光の目玉になっている。

**大分県宇佐市** 宇佐海軍航空隊の掩体壕が10基残り、うち「城井1号掩体壕」は1995年、市の文化財として史跡指定された。「掩体壕の残るまち」として市をPR。説明板や出版物も充実している。

**鹿児島県知覧町** 本土最南端の飛行場である知覧の陸軍特攻基地から飛び立った多くの若い命が失われた。「知覧特攻平和会館」など当時を偲ぶ施設が造られ、多くの戦争遺跡が保存されている。

## 第2回総会・記念講演会が開かれる

4月4日(日)、鈴鹿市勤労福祉会館で約60名の会員が参加して第2回の総会が開かれました。加藤二三子・共同代表の挨拶に引き続き、昨年度の活動報告と決算報告、新年度の事業計画・予算案などが報告・承認されましたが、最後に竹内宏行・共同代表より「NTT研修センター跡地利用に関する特別決議」が全会一致で採択されました。引き続き文芸評論家の清水信さんによる「戦争と文学」という演題で講演会が開かれ、豊富な知識と巧みな話術で聴衆を魅了する講演会となりました。



特別決議を読み上げる竹内代表

### 【講演会記録】

## 「戦争と文学」

文芸評論家 清水信さん

清水信です。まず、戦前、戦中に生きた庶民に戦争責任はあるのか、そういう問題を提起したい。軍国主義を推進させ長い苦しい戦争に突入せしめた軍閥や当時の政権・政商、また外国の領土に侵犯を繰り返した前線の将兵、これらの人は当然だが、我々庶民にも戦争責任はなかったと云えば、私はあったと考える。

敗戦後、いち早く「文学時標」など左翼系のジャーナリズムが「文学者の戦争責任を問う」という特集を企画。六十数名に及ぶ戦犯文学者の名前を公表し、その責任を問いつめた。その名には高村光太郎や斎藤茂吉、佐佐木信綱、獅子文六、小林秀雄らの名前もあった。高村や茂吉は東北地方に隠棲し、信綱は熱海にこもり、小林は転身した。小林さんは明治大学の教授でしたが辞表をたたきつけて教授を辞任した。どうして食っていくのかとみんなに聞かれて「これからは骨董で食う」と言った。戦争中は文学の注文は激減したし、敗戦後は戦犯として文筆活動を止めてしまった。青山三郎という骨董屋の友人に教わってその後の生活を骨董で支えられた。

この中に戦時中に海外から引き揚げられた方もいるかもしれない。私は米軍の上陸用船艇で九州の佐世保に上陸したが、上陸したら持ち物を全部取られて、ここ(頭)からDDTの粉をふられて国に帰りました。私は足かけ5年北京にいましたから、戦争犯罪らしきものはどう考えてもあったと思う。今日は「戦争と文学」というテーマですが、おもに「戦争と私」話します。皆さんの手元に「XYZ181号」という雑誌をお渡ししているんですが、会員の中には戦争体験者やそうでない人もいて、戦争ということに関して書いていただいた。先ず自分とはどうものであるか知っていただくために、戦争に至る前の私の生活を略述している文もあるので、河原徳子さんに読んでもらいます。(朗読略)

日本の言語は世界に冠たる「緊張言語」です。世界に日本しかない。言葉自体もしくはその言葉が組み合わせられていくことで緊張感をあおっていく。緊張言語は戦争中に乱発されてある種の魅力があるのだが、そこに問題もある。ラジオと新聞で998回もの大本営発表があった、それはすべて嘘なのですが、緊張言語の特質として心に響くんですね。昭和16年12月8日の大本営発表でも緊張言語で書いてあるので国民が全部だまされた。12月8日の発表はみなさんの中には覚えている方がまだあるかと思います。大本営発表は昭和16年12月だけで88回、17年には年に252回、18年が174回、19年に218回となるが、戦況は不利になって昭和20年には極端に減って6月に2回、7月に2回、8月に3回となり、8月18日に連合国に日本が敗れたことはいっさい発表されなかったんです。口を閉ざしていた。高校野球、大学野球では応援団の鉢巻きに「一球入魂」と書くが、英語では長くなりますね。とても鉢巻きには皆書くことができない。戦争中には女将さん連中もみな「国防婦人会」「愛国婦人会」の襷を掛けて、普段は



だらしな女たちも素敵だと感じていました。

私の友人の西河克己が書いた「白い鴉」という戦争文学を紹介します。軍隊生活の実態を書いたものです。上官がカラスは白いといえばカラスも白いのです。上官の言ったことは天皇の言葉と同じであるというのが軍隊の実態です。軍隊は人権を曲げたばかりか真実を曲げてしまう組織でした。大変多数の人が戦死しましたが、その中にちらほらとリンチを加えた上官が戦場に行き背後から日本兵に撃たれたものも入っているのです。だから戦争を美化し、風化させてはならない。戦死者の中にはそういう人もいるのだ。

戦争遺跡を保存し平和利用する市民の会の動きは私は大賛成です。私は戦中派ですが、その前に戦前派がいて、その次は戦後派、次は戦無派で戦争を全く経験しない世代ですが、何とかして戦無派で戦争を終了させたいというのが念願ですね。また北朝鮮、米国、中国で何かきな臭いにおいがする。また戦争の気配がするので。せっかく戦後派になったんですから、戦後派でずっといたい。未来の時代の人と「戦前派」にしてはならないという気持ちが私の中に脈々とあります。

悪口を言いたくないのですが、東京への米軍の空襲は初めは軍需工場だけに絞られていたのに、それでは日本は降伏しないと、次第に無差別空爆になった。300機もの大編隊でめちゃくちゃに爆弾を落としました。焼夷弾は六角形の金属製に脂布を48個束ねていた。上空で破裂し金属筒が破れて中にあった樹脂を含んだ布が散乱した。東京の爆撃は4月13日・14日と続いたが、東京は壊滅状態になった。にも関わらず1964年に米国の指揮官に勲一等旭日大綬賞が与えられたが、日本の政府や新聞は一切ひた隠しにした。日本を空襲した300人余りの米兵に勲章を与えた。何と屈辱的な外交を続けていくものだと思う。

私は銃後とはいわない。銃後とは日本らいて戦争に協力したり、戦争に従事した人なんです。前線で戦った人よりももっとえらかったのです。「XYZ」の5頁に千人以上もの民間人の死者を出したことを記していますが、これを私は書齋に貼ってあります。なんということだろう。広島市で約14万人死んだが、その数だけの家庭が崩壊したということです。東京では10万人、大阪では1万人、名古屋では7800人が死んでいる。一人の人が戦死したということではない。その人のおかげで私が生きている。そういう思いを深くしています。

日本はやはり反省が下手で、忘れやすいのが日本人ですから、私も日本人でそれを恐れている。日本人は形式だけの、ポーズだけの真面目さ。誠実さを通してきたが、けれどもこれらは胸の奥底から本当に希求せねばなりません。私は今、新聞のコレクションをしている。男はコレクションが好きなんですが、子どもの頃は昆虫採集、次に化石を集め、それに飽きたら切手収集をしたが、お金が続かない。大学時代はマドロスパイブを集めました。今は新聞の全面広告を100枚ぐらい集めているが、その1枚を紹介したい。今の記事よりも広告が多い。面白そうな4月4日はヨーヨーの日とかで、あほらしい。私はペーパーレスの時代で、新聞は10年も持たないと思うが、今は最後のあがきの時代です。新聞が読まれない時代です。とにかく新聞が減ることは明らかでジャーナリストやメディアの末期は暗い。モノが言えない時代が来るのです。

私は幸いにして目がいいので、この本の細かい「XYZ」を読めますが、小さい字を読んでなるべく目を酷使した方がよい。私は親に隠れて寝床で小説を読み、便所で詩集を読んだ。それらが役だって目が全く衰えない。耳で聞きながら何かをするのもよい。私は卒寿になりますが、皆さんもどうか長生きなさって下さい。今は100歳以上の人は日本に4万6千人いるが、その中で連絡がとれるのは7千人ぐらい、あとは意識がないか、ぼけて入院しているかで、またとうに死んでいるらしい。そういう人にならないように元気のままでいて下さい。つまり戦争を我々が風化させない、戦争遺跡を残して子どもたちに平和な時代を築いてほしい。こういう思いで皆さんがまともに長生きして下さることが大事なのです、ぼけないで下さい。

我々庶民に太平洋戦争下の戦争責任があったのかと問われれば、時代に抵抗できず、戦争に反対もできなかったことで、十分にその責任はあると思われる。二度と再びこれからの国民にあの苦しみを与えないように我々はモノを言い、戦争の真実を記録して次代の幸福のために戦っていかなねばなりません。

共に頑張っていきましょう。(終わり)

## 【総会・講演会の感想】

第2回総会と清水信氏の講演に対し参加者から寄せられた感想、意見、問題提起などを抄録します。

- ・若い世代へのアピールをどのようにしていくか、機会をもちたいと思います。XYZ 181 ページ6 (「戦記の疑問」) を頭にたたきこみながら・・・(50代女性)

- ・重点活動に対するロードマップの具体的な提案もあればと思います。(70代男性)
- ・ご準備、開講お世話様でございます。有益なお話をありがとうございました。清水先生の講話に魅せられて馳せ参じました。(70代女性)
- ・保存について関係当局に強く働きかけるということですが、具体的にどうするのか。この施設を保存するだけでなく「何をしたいのか」「何をすべきか」具体的な立案と提案をしないとインパクトがないのではないかと、思います。遺跡の単なる保存だけでなく、有効活用する企画が必要と思われれます。相手は「土地利用転換計画」をしていることを忘れてはなりません。(70代男性)
- ・昨年参加できず残念に思っていました。清水先生の話に感心しました。(70代男性)
- ・清水先生の楽しい中に人生訓のある講演、ありがとうございました。現地現物見学(確認)の機会を多くつくって頂けたら、と思います。
- ・素晴らしい会でした。(70代男性)
- ・初めて清水先生のお話を聞いた。のっけから佐々木信綱批判は痛快であった。鈴鹿市は信綱を時ある毎にたたえている。その考えをいまだに引きずっているのだろう。先生の戦争に対する一つの考え方を知った。面白い話であった。「心の奥の叫び」を信じたい。(60代男性)
- ・清水信さんの講演では、戦争にまつわる文学作品、文学者、言葉について、清水さんご自身の軽妙な語り口を通じて非常に興味深かったです。「私は戦犯だから」というある種「自虐的」なセリフに実感と説得力が秘められていたような気がしました。日本語は緊張言語。大本営発表に惑わされぬよう、私自身も精進していこうと思います。格納庫の保存はいよいよ土地開発の事業がスタートしてしまったかと。時間は限られていますが、解体を防げるよう私も知恵をしぼっていこうと思います。(20代男性)
- ・戦争を知らない私たち世代にとって実体験をもちこんだ話は目がテンになることが多いです。今日の清水先生の話もへーそーなんだ！が多かったです。今まだ残る人々の話をなんらかの形で後の人たちに伝えられるとよいのですが。(40代女性)
- ・特別決議案の内容はすばらしい事。広く訴え続けていくなれば必ず受けいれてもらえる内容と思う。“鈴鹿”を全国に発信する好機でもあり、鈴鹿市民が後世に残せる大変有意義な価値となる。私自身も注力していきたい。佐々木信綱の生地、石薬師小学校の校長から数年前にもらった、うの花が咲いていて妻と話した。そんな中、清水信さんの話が始まり、知らない戦中話、ユーモラスたっぷりの90歳とは思えない話ぶりに感心した。と同時に、戦争の悲惨さ、後世にしっかり伝えていく大切さも感じた。とても良かったです。(50代男性)
- ・終戦前の4ヶ月、軍隊生活(?)を送りました。なぜ日本が戦争を始めたのか、もし戦争をしていなかったら日本はどういう事になっていたか、という事を伝えていく責任を感じている者も少なくないと思います。日本の戦争のお蔭で独立できたアフリカ大陸の国も有るといふ書物を読んだ事もあります。戦争は悪いといいつつ今も戦っている事は何とも悲しい思いです。(80代男性)
- ・話は考えるきっかけ作りになった。人間は弱い生き物で強い物になびいてしまう。でも、自分の立ち位置を探るのが文学であり、他人の言葉、自分の体験を気づかせてくれる。戦時は弱い自分が作り出すと考えて、やっぱりそうなりたくないと思決意した。(60代男性)
- ・先生へ。お元気で講演、文芸活動をいつまでも続けて下さい。戦時中の敬礼など初めて聞くものもありました。私の父(81歳)は戦争へ行きませんでした。詳しい話を聞いていきたいと思います。楽しく聞かせていただきました。(50代女性)
- ・戦争を体験していない世代のなすべき役割を模索中。文学も知らないひとりの人間ですが、今日の講演、XYZに執筆されている清水先生から入門の入門としてわずかな一歩を歩めるように感じています。ありがとうございました。いつまでもお元気で!!(60代女性)
- ・格納庫保存はぜひ成功させたいですね。市長や市当局の気持ちを変えさせるような取り組みが工夫できればいいと思います。(60代男性)
- ・戦中時代のことを思いおこし、参考になりました。(70代男性)
- ・書斎の壁に死者の数を貼っている文学者の良心。清水先生のほんとうのこころを大切にしたい。(60代女性)

## 鈴鹿市の戦争遺跡を保存・平和利用する市民の会 2010年度活動計画

### (1) 戦争遺跡の保存、文化財指定、平和利用への取り組み

- ① 鈴鹿海軍航空隊格納庫3棟の保存を、市やN T T西日本に強く働きかけ、文化財指定をめざすとともに、鈴鹿市の活性化に役立つ活用を探ります。
- ② 破壊の恐れのある戦争遺跡を把握し、市や当事者に歴史的価値を訴え、保存を働きかけます。
- ③ 2012年8月に「第16回戦争遺跡保存全国シンポジウム鈴鹿大会」(戦争遺跡保存全国ネットワーク事業)を開催する準備を始めます。

### (2) 講演会、見学会、学習会、企画展示会などの実施

- ① 総会を含み年3回程度、会員全員の集まりを企画します。
- ② 四日市市内の戦争遺跡の見学会を開催します(5月30日)。
- ③ 富良野GROUPの演劇「帰国」の上演に協力します(8月21日、鈴鹿市民会館で)。
- ④ 市制施行記念日である12月1日前後の1ヶ月、企画展「軍都から工都へー鈴鹿市のあゆみ展」を開催します。  
(会員の皆さんで、展示できる資料をお持ちの方はぜひご一報下さい)
- ⑤ 10月に開催予定の第5回風の街の文化祭「市民交流広場」に写真パネルを展示します(10月24日、鈴鹿ハンターで)。このほか適宜、企画展示会を開催します。
- ⑥ 講演会「全国の戦争遺跡保存の現状と、鈴鹿市の戦争遺跡の価値」を、戦争遺跡保存全国ネットワークから講師を招いて開催します。(2月20日、場所は鈴鹿医療科学大学を予定)

### (3) 鈴鹿市などに残っている戦争遺跡の調査

- ① 戦争遺跡の確認調査をします。  
(会員の皆さんがご存知の戦争遺跡があれば、役員にご一報下さい)
- ② 戦争体験の聞き取り調査、実物資料の確認調査をします。  
(会員の皆さんもぜひご協力下さい)

### (4) 会員通信など情報発信の取り組み

- ① 年に3回程度、会員通信を発行します。
- ② 会のホームページで広く発信します。
- ③ メディアやタウン誌などを通し、機会を見つけて市民に発信します。
- ④ 調査の成果、講演会や企画展などの報告をまとめたブックレットの発刊を検討します。



危機的状況にある旧鈴鹿海軍航空隊格納庫群

## 第3回戦争遺跡見学会のご案内

日時 ; 2010年5月30日(日) 13時～ (集合: 鈴鹿市役所立体駐車場1階西)

※数台の車に分乗して見学をします。

内容 ; 四日市の戦争遺跡 (第二海軍燃料廠跡を中心に見学します)

(見学予定地)

旧第二海軍燃料廠取水施設(楠町本郷)～四日市市楠歴史民俗資料館～白髪神社(日永・第二海軍燃料廠碑)～旧第二海軍燃料廠地下壕(日永)～市民壇(南部丘陵公園)～四日市空襲殉難碑(鶴の森公園)～諏訪公園

講師 ; 北野保さん(前四日市市教育委員会職員)



四日市空襲殉難碑



旧第二海軍燃料廠地下壕



第二海軍燃料廠空中写真

## 富良野GROUP 「帰国」 鈴鹿公演のご案内

日時 ; 2010年8月21日(土)

場所 ; 鈴鹿市民会館

内容

8月15日午前1時32分、現代の東京駅にダイヤにはない1台の軍用列車が到着した。そのなかに乗車していたのは65年前に南方で玉砕した英霊たちだった、彼らの目的は平和になった故国を視察することだった。帰国までたった1日、お国のために死んだ彼らが見た現代の日本の姿とは・・・。

富良野GROUPとは倉本聡さんが主催する富良野塾を卒業し研鑽を重ねた俳優集団で倉本聡塾長のもと一步ステップアップしたプロの劇団です。昨年、とても話題にのぼった「帰国」がこの鈴鹿で上演されることになりました。



### 会報5号編集後記

まだ先のことではないかと楽観していた格納庫の取り壊しが目の前のスケジュールにのぼってきた。鈴鹿市の6月定例市議会が大きなヤマ場。ここで承認されたら、取り壊しへと一気に進む。ちょっと待って! 市も議会もそんなにあわてないで!! そう考えて今回の第5号はNTT跡地利用の特集号にした。(竹内)

#### 鈴鹿市の戦争遺跡を保存・平和利用する市民の会

代表 加藤二三子、竹内宏行

〒510-0254 鈴鹿市寺家1-2-47

電話 059-388-6508

メール ta818hi@mecha.ne.jp

HP <http://www006.upp.so-net.ne.jp/asao/peacesuzuka.htm>